



岡山県原水協通信

2017年 6月 17日 No.406

原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町 4-25
TEL086-244-4526(F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp



あいさつする加百さん(左)、その隣平末岡山市被爆者会会長。

核兵器禁止の新しい歴史を

6月15日から国連では核兵器禁止条約交渉会議第2期会議が始まりました。5月22日に発表された条約草案は被爆者をはじめ多くの人々から感動をもって受け止められ、核兵器禁止から廃絶への新しい歴史が始まると、歴史の大きな流れを感じさせました。

禁止条約の実現を目指す6・17NY行動にあわせ、岡山県では6月17日「核兵器なくそう おりづるパレード」が取り組まれ60人が参加しました。岡山県原水協と新婦人岡山県本部の共催で行われました。出発集会では県原水協中尾代表が「いよいよ条約の実現という歴史的な状況を迎えた。ヒバクシャ国際署名を広げ確かなものにしよう」と訴え、岡山市被爆者会平末会長、岡山「被爆2世・3世の会」加百代表が「被爆者の待ち続けた禁止条約。何としてもその実現を」とそれぞれ連帯の挨拶を行いました。



集会参加者はプラカードや折り鶴、色とりどりの風船などを手に城下から岡山駅前までの核兵器をなくしまし、市民にアピールしました。

